

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成30年度分）

施設	名称	栃木市大平高齢者デイサービスセンターまゆみ
	所在地	栃木市大平町真弓1438番
	施設内容	栃木市大平高齢者デイサービスセンターまゆみ
指定管理者	名称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木県栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	地域福祉事業の推進・ボランティア活動の振興・介護保険法事業の実施・障害者総合支援事業の実施

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
	アンケート数	50件	56件
	利用者意見反映数	2件	5件
	利用案内掲示数	2カ所	2カ所
	利用者満足率	80%	91%
	業務改善数	1件	1件

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	II	0.8	20

指定管理者コメント	<p>①栃木市高齢者デイサービスセンター条例等に基づき「運営規程」を定め職員に周知し管理運営を行いました。</p> <p>②介護保険の通所介護事業所として、通所サービスの提供を行い7,968人の方に利用いただきました。また、居宅介護支援事業所や訪問介護事業所と連携を図り、より良いサービスの提供に努めました。</p> <p>③アンケート調査を実施し、56人の利用者及びその家族からアンケートに回答をいただき、利用状況等の把握に努めました。約91%の方から利用満足の評価を受けました。 また、利用者の多くが認知機能に障害があるため「個別連絡帳」を用意し、家族等の意見や要望、感想を取り入れて、サービスの質の向上に努めました。</p> <p>④苦情解決に関する規程を定めるとともに、苦情相談窓口を設け、苦情担当者を配置するなど、苦情に対応する体制を整えました。</p>
-----------	--

施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会という公共性を高く問われる団体として、中立かつ公平な立場で事業を運営しているものと理解する。 ・アンケート調査により、概ね利用者には満足いただいているものと思われる。
-----------	--

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	利用者数		8,500人		7,968人		
	地域との協働事業数		10事業		13事業		
	協働等事業参加者数		3,500人		1,200人		
	広報紙発行数		6回		6回		
	自主事業数		6事業		10事業		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①事業計画に基づき、概ね良好に実施しました。</p> <p>②年6回発行している本会機関紙「ふくびーだより」やホームページ、パンフレット等による広報活動を行い、利用者の増加に努めました。</p> <p>③平成19年10月から土曜日を含む週6日開館することで、利用者の利便性の向上に努めました。更にコスト削減の努力を行うことで利用者からの昼食料を値上げせずに据置いています。</p> <p>④「健康福祉まつり」の施設開放等を実施し、地域住民の理解を進めました。また、地域ボランティアの協力の基、季節ごとのイベントを開催することができた。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が減少しているため、原因等を調査し対応をお願いしたい。 ・年間事業として様々な事業を実施し利用者の満足度を高める努力をしていることは評価できる。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	経費削減額		35,500円		71,064円		
	経費削減率		30%		25%		
	備品等更新数		4点		5点		
	見積合せ実施数		7事業		5事業		
	施設修繕数		10ヵ所		9ヵ所		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<p>①収支手続きなどは、会計責任者、出納責任者及び会計職員の3者を置き、相互のチェックを行うとともに監事や税理士による外部監査により、適切に行いました。</p> <p>②コピー用紙の両面利用やミスコピーの裏面利用、事務用品の節約など経費節減を心掛けするとともに、不快を感じない範囲で消灯を行い、光熱水費の削減に努めました。</p> <p>③複数業者間の競争により、経費の削減に努めました。</p> <p>④業務用詰替えの消耗品を多く使うことによりゴミの減量化を図りました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・収支手続については、適性に実施されているものと思われる。 ・経費も削減額は伸びてきており、努力しているものと思われる。 						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			21人	21人	
	研修会開催数			2回	4回	
	研修会参加者数（延べ）			9人	26人	
	経常収支比率			100%	89.3%	
	勤務時間数（1人当り）			6.46時間	6.39時間	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	<p>①看護師等の有資格者が業務に当たり、必要に応じて本所から専門家の支援を確保しています。</p> <p>②朝の打合せや月例会議により、職員間の共通理解を図っています。更に職員の資質向上のため、定期的に研修会に参加しました。</p> <p>③腰痛予防のための研修会や、認知症の研修等に参加し、その対処法について学びました。</p> <p>④各種税金や各種社会保険については、適切に納入し未納はありません。</p>					
施設所管課コメント	<p>・職員の育成、資質の向上のため研修会の開催、派遣に積極的に職員を参加、派遣していることを評価する。</p>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	安全点検実施回数		294回		289回		
	訓練実施回数		2回		2回		
	安全講習会等参加者数		1人		1人		
	訓練参加者数		40人		45人		
	事故発生件数		0件		0件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	II	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①日常的に施設や設備の安全点検を行いました。</p> <p>②緊急電話連絡網や火災時の自衛消防隊を編成し、事務所内に組織表及び連絡表を掲示しました。また、職員の携帯電話を含めた職員連絡表を整備しました。</p> <p>③消防訓練及び水防訓練を2回実施しました。</p> <p>また、福祉車両安全運転講習会に参加し、福祉車両の乗降及び安全運転について学びました。</p> <p>④個人情報保護規程を職員へ周知し、個人情報の取扱等に配慮しています。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常施設の点検等を実施し事故なく適正に運営されていることを評価する。 ・ 非常時の体制、訓練も適正に配置され実施されているものと思われる。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	25	20
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	12	16
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	16
評価点合計	100	85	80
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
資産総額	2,139,158,653	2,097,731,214	1,991,989,007
売上高	931,676,583	930,938,472	897,769,372
経常利益	△ 74,175,012	△ 103,683,087	△ 107,467,321
当期利益	△ 74,150,956	△ 103,605,695	△ 108,867,554
経常収支比率	92.7%	90.0%	89.3%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
経常費用	1,009,825,708	1,038,342,290	1,008,336,278
経常収益	935,650,696	934,659,203	900,868,957
経常収支比率	92.7%	90.0%	89.3%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

平成30年度における本会全体の財務状況は、前年度に続き介護保険事業利用者が減少したことに伴い、事業収入が減額し赤字決算となりました。繰越金があることから組織全体の運営に支障はありませんが、安定した基盤づくりのため、今後も健全な経営に努めていきます。